昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔泌尿器科〕

指標名

ダヴィンチ手術

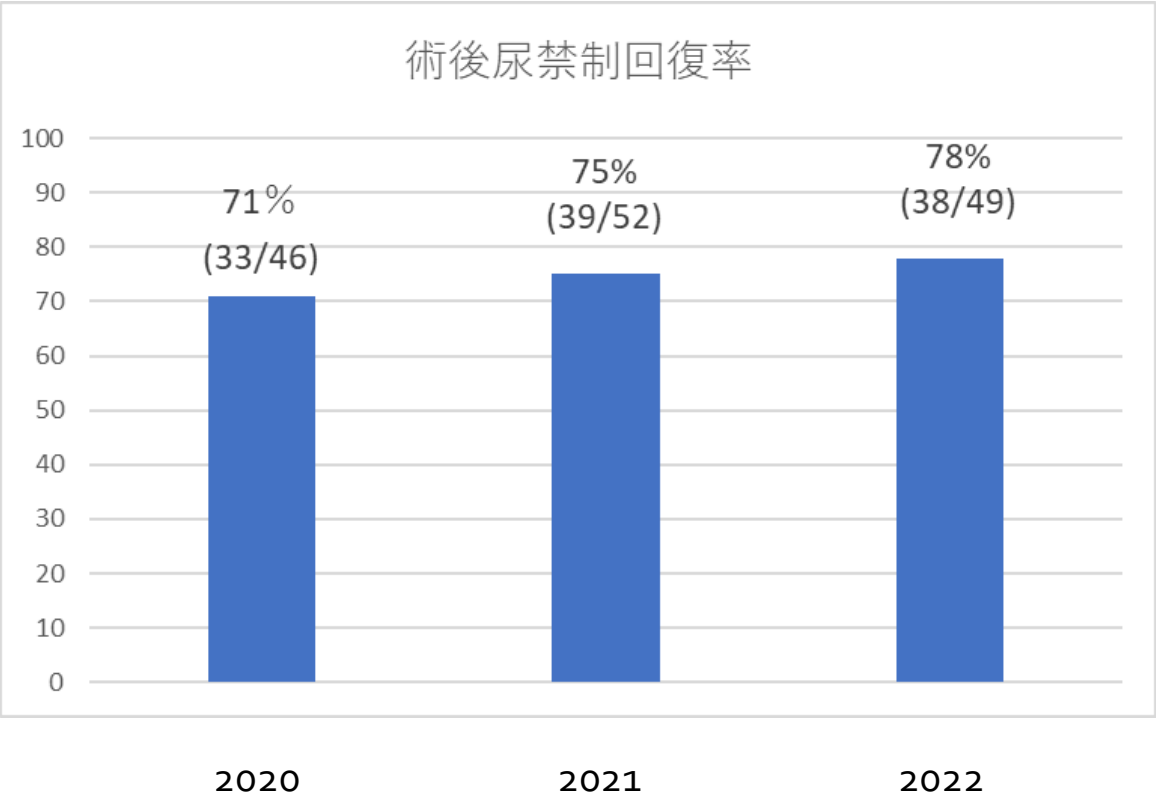
目標・ゴール

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ダヴィンチ手術）における術後尿禁制回復率

目標・ゴール達成による効果

術後の尿禁制回復（尿失禁改善）が得られることで患者 QOL を維持する。

目標・ゴールに対する成果の状況



ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術(ダヴィンチ手術、RAPP)における術後尿失禁回復率を6ヵ月後のパッド1枚以下で評価した。

目標・ゴール達成度

☐S　:大幅に目標を上回った
☐A^{+}:目標を多少上回って達成
☑A　:目標を達成

☐B^{+}:目標を少し下回った

☐B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

昨年までより高い達成率を得ることができた。反復する手術技術の向上や工夫により今後も常に更なる向上に努め、患者様のQOL維持に貢献していきたい。

昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔泌尿器科〕

指標名

尿路結石手術

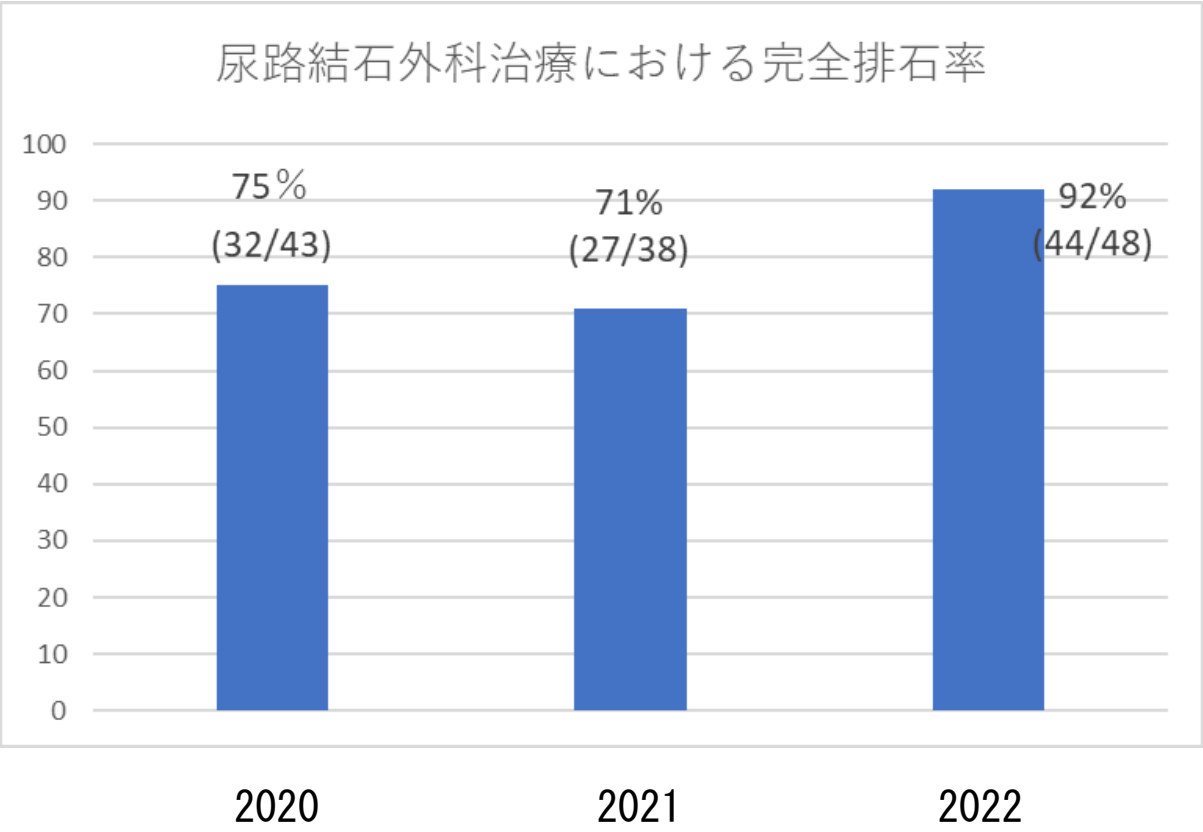
目標・ゴール

尿路結石外科治療（TUL、ECIRS）における完全排石率

目標・ゴール達成による効果

尿路結石治療における完全排石術を上げることで、尿路合併症や二次的治療を回避することができる。

目標・ゴールに対する成果の状況



目標・ゴール達成度

☑S　:大幅に目標を上回った

☐A^{+}:目標を多少上回って達成
☐A　:目標を達成
☐B^{+}:目標を少し下回った
☐B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

昨年までよりも大幅に成績を改善できた。

長期嵌頓症例や有症状症例をはじめ、ここ最近導入しているECIRS（TUL＋PNL）によるハイブリッド手術での大きな結石症例などの割合が増えてきている。今後も目標を継続するとともに、個々の結石の特性を事前に吟味し、徹底したプランニングのもと、排石効果の向上に常に努めていきたい。